

保護者の皆様

令和2年度 11月1日



(福)尚徳福社会
 保育園神田ベアーズ
 園長

立冬が過ぎ、吹く風もだんだんと肌に冷たくあたり、いよいよ晩秋から冬へと変化していく季節となりました。季節の移り変わりは本当に早いものです。保育園は、床暖房とエアコンを併用しております。部屋で過ごすときは、かなり温かく、少し活動すると汗ばむくらいです。半そでの下着、長そでのTシャツ、ベストで調節という衣服の着用が望ましいのではないかと考えております。あまり厚着にならないようにし、活動的に動ける着用をお願いします。

さて、10月は「ハロウィン」そして「身体を動かして遊ぼう DAY！」(体の各部位を意識し動かしてみよう!)を計画し、同じテーマで運動遊びに取り組み楽しみました。最終日には、クラスカラーのメダルを嬉しそうに、担任から首にかけてもらっていた姿がとても可愛かったですよ!



日	曜	内容	16	月	全園児 園医健診
1	日		17	火	
2	月	順次個人面談 ↑	18	水	
3	火		19	木	
4	水		20	金	
5	木		21	土	
6	金		22	日	
7	土		23	月	勤労感謝の日
8	日		24	火	
9	月		25	水	
10	火		26	木	
11	水		27	金	
12	木		28	土	
13	金		29	日	
14	土		30	月	
15	日				

お誕生日 おめでとうございます!!

りす組

うさぎ組

ぱんだ組

個人面談を始めます

りす組から個人面談を始めます。クラスごとに週を区切っていますが、他クラスの週でもご都合が合えばいつでも可能です。

日程につきましては、担任とご相談ください。



保育時間について

登園降園の時間は入園時にお聞きしております。園児人数により職員がシフトを組んで運営をしています。その都合上、大変申し訳ないのですが、お迎えが遅れる場合は、対応の体制を取りますのでご連絡くださいますようお願いいたします。園児数により、朝、夕方は合同保育を行わせていただいています。異年齢の交流で過ごしますが、どうぞよろしくをお願いいたします。

また、朝のご連絡(お休みや遅れて登園など)も、散歩などの活動もありますので9時頃にご連絡をお願いいたします。

朝の受け入れ時についてのお願い

お子様の怪我把握についてお願いです。登園時、お子様の顔や手足などの衣服から出ている部分は、怪我をしていないか？傷はないかなどを確認し、なおかつ「お変わりありませんか？」とお聞きし怪我や体調面の無事を確認しております。ご自宅での怪我がある際には、保育士へお声がけいただきたくお願いいたします。



おたのしみ会について

年間予定でお知らせしていました「おたのしみ会」につきまして、新型コロナウイルス感染症の予想以上の拡大がないものの、いまだ終息は難しい状況と判断しております。また、症状のない感染が広がっているのではないかと推測されています。保育園は特定された多数という状況がありますが、万が一を考えますと実行の決断を下すことが難しいと考えております。お便りでお知らせいたしましたが、「おたのしみ会」につきましても、子ども達だけで楽しむ行事とさせていただきますと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、今年度に限り遊びの様子を「特別編」として、DVDに納め販売をいたします。



「ハロウィン」 切り取り場面

お化けたちに扮した可愛いぱんだ組ときりん組の子ども達。瓦版をご覧いただけただでしょうか？「お化けカボチャを探せ！！」では、カボチャを見つけるのに1階から4階までくまなく探しはじめるましたが、かなり苦戦をしていました。そして、何とか発見し4つの印を集めたら、いざ魔女探し。こぐま組にいた魔女を1番に見つけたお友だちは、なぜか怖がり後ずさり・・・「合言葉は？」と聞くと「名前を言うの？」と可愛い返事。そのうちにシールを集めた子ども達がワーンと押し寄せてきて「お菓子ちょうだい！！」「いたずらしちゃうぞ！」と詰め寄られる場面に展開。お菓子を手にすると、満足感たっぷりのとてもいいお顔の子どもたちでした。



「身体を動かして遊ぼうDAY」(走る)

あるお子さんの一場面です。やっと走るという形ができてきた年齢の〇〇さん。もう走りたくて走りたくてたまらない様子を体中から発し、もちろん「よーいどん」のかけ声も聞こえないほど。一度駆け抜けたその後も、又、スタートラインへ・・・もう目が真剣そのもの、トータル4回くらいは走ったでしょうか・・・。

両手両足をバランスよく動かせるようになり、しかも年齢が上がるほどそのスピードが増していく。ぱんだ組ときりん組の子どもたちは、スピードが出すぎ危ないので、思いっきり走ることはできませんでしたが、お友だちと協力し合うという難しい技に挑戦。そ〜っと運ぶペアと早く運びたいペアの差は歴然。今回ばかりは、ゆっくりペアの勝利でした。「走る」ということひとつからも、年齢や個人の発達などを感じ、今後の指導や援助につなげていくことが大事だなと感じる場面でした。